

(7) ダリア (ニューヨーク想定：梱包から開封まで約54～58時間)

① 調査区分

■冬期調査 (平成22年1月20日～22日)

品 種 名：黒蝶、熱唱

[1束当たりの平均重量 黒蝶≒314g、熱唱≒469g]

本 数：70本の1パターン (1束当たりの本数=5本)

(他の品目との混載ボックスによるテストも実施)

保水状態：乾式、保水ゼリーの2パターン (乾式と湿式は別々)

予冷方法：強制通風予冷と差圧通風予冷の2パターンを実施

入り数	品種名	予冷方法	保水条件	内訳	日持ち日数 (日)	内容物 総重量(概算)	梱包 具合
70本 (14束)	黒蝶	強制通風	乾式	8束	5.0	5.33kg	○
	熱唱	強制通風		6束	4.6		
70本 (14束)	黒蝶	強制通風	保水ゼリー	8束	4.6	5.33kg	○
	熱唱	強制通風		6束	4.2		
他品目と 混載(12束)	熱唱	強制通風	乾式	3束	5.0	6.28kg	◎
他品目と 混載(12束)	熱唱	強制通風	保水ゼリー	3束	3.0	6.31kg	◎

② 保水条件による比較

調査時期	品種名	保水条件	重量増減(%)	日持ち日数 (日)
1月	黒蝶	乾式	-10.7～-4.7	5.0
1月	熱唱	乾式	-9.2～-4.7	4.6
1月	黒蝶	湿式	-1.3～4.4	4.6
1月	熱唱	湿式	0.5～2.9	4.2

③ 試験結果分析概要

ダリアは傷みやすく、また輸出には大輪系が好まれるので、梱包に技術を要する。圧縮もなかなかできないので、今回行ったところで70本というラインが限界であった。これはまだ隙間もあり、入りそうだが、花痛みを考慮した限界である。一方で、乾式と湿式であまり差は見られなかったが、重量増減比率を見てみると、乾式と湿式の差が最大約14%あり、しおれ限界の目安(約7%)を上回っているため、植物の生理上も危険な状態であり、本品目での乾式の薦められないという結果となった。

また、全般的に商品として日持ち日数が短すぎるという結果が表れた。所要時間の長さが問題と考えられる。